医療関連機器褥瘡
を知っていますか？

MDRPU

医療関連機器褥瘡（MDRPU）予防は医療安全のひとつ

褥瘡のうち医療関連機器によってできるのは
急性期病院では**15～22%**、小児病院では**64%**です

2021年日本褥瘡学会実態調査より

気管カニューレ固定具



医療用弾性ストッキング



ギプス



NPPV用マスク



酸素マスクストラップ（耳介）



胃ろう固定板



組織で取り組む

- 予防の重要性に関するスタッフ教育
- 機器管理マニュアルの作成と周知
- 患者・家族への説明と患者参加の促進

アセスメント

- 褥瘡危険因子、装着部の浮腫、皮膚の状況、下肢血行動態等の評価
- 添付文書や手順書で禁忌等を確認

適切な除圧

- 正しいサイズの機器を選択
- 可能ならば発生リスクの高い部位に創傷被覆材を用いて皮膚を保護
- 毎日、機器の固定位置の変更、または持ち上げ

日本褥瘡学会は平成23年から医療関連機器褥瘡の予防に取り組んでいます。

日本褥瘡学会
Japanese Society of Pressure Ulcers
since 1998

http://www.jspu.org/